

アフターコロナにおける事業機会発見 ワークショップのご紹介

コロニー株式会社



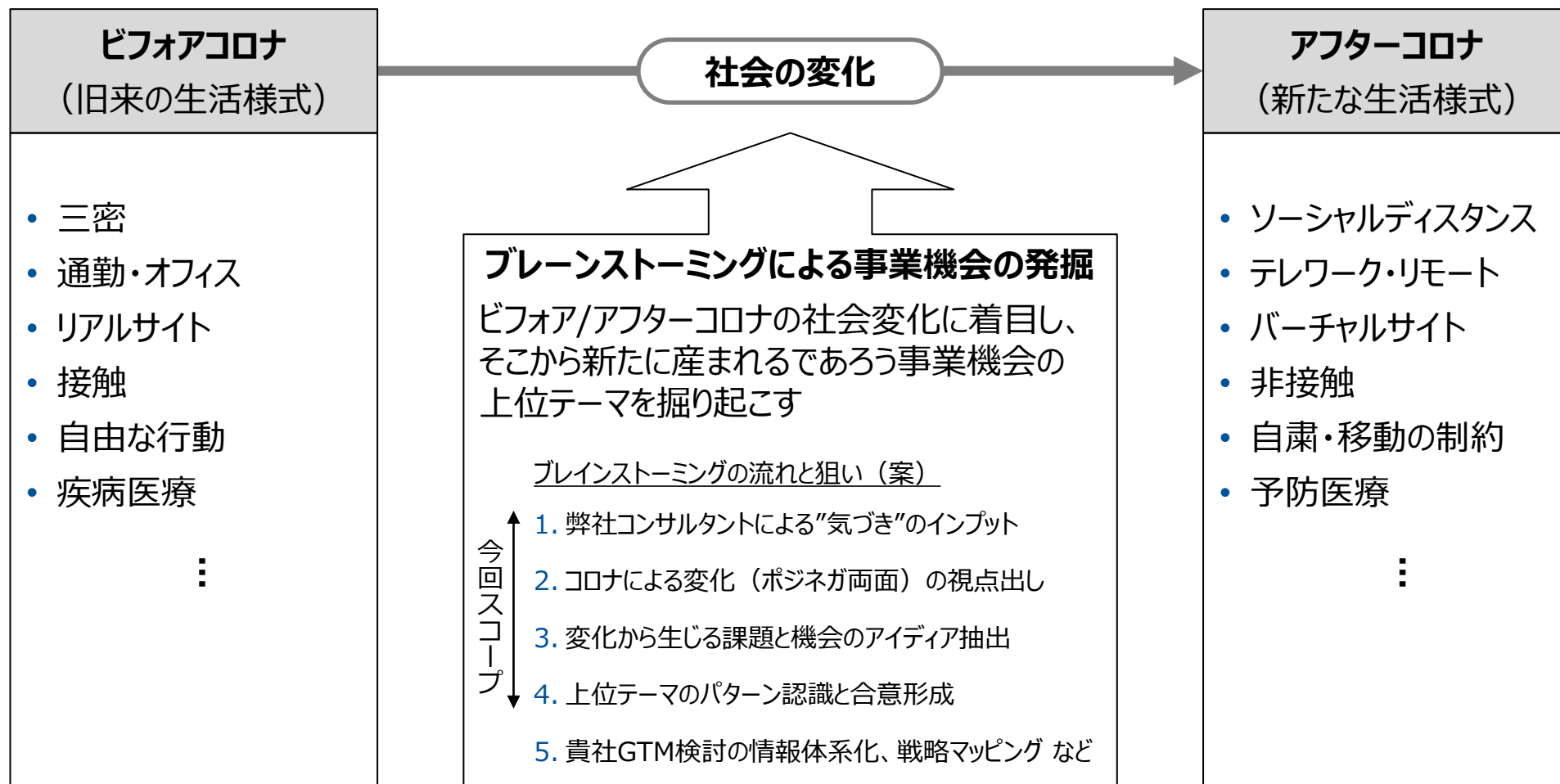
CONFIDENTIAL AND PROPRIETARY

This presentation, including any supporting materials, is owned by Qolony, Inc. and/or its affiliates and is for the sole use of the intended Qolony audience or other intended recipients. This presentation may contain information that is confidential, proprietary or otherwise legally protected, and it may not be further copied, distributed or publicly displayed without the express written permission of Qolony, Inc. or its affiliates. © 2020 Qolony, Inc. and/or its affiliates.

All rights reserved.

今回セッションの概要

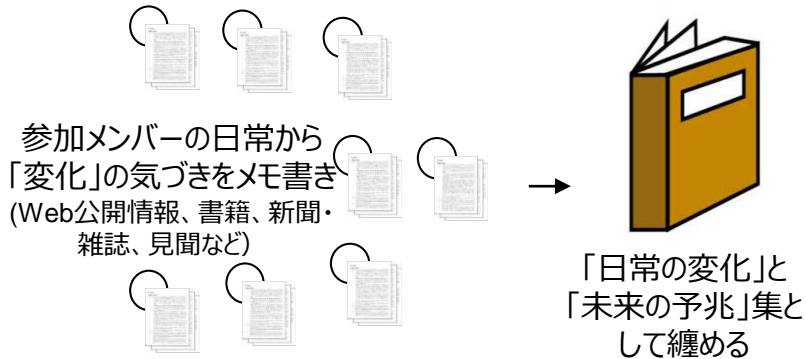
弊社プログラムFuturing™のアイディエーションモジュールを活用したブレインストーミングを開催し、新型コロナウイルスに起因する社会変化を捉え、貴社にとっての新たな事業機会発見のための様々な視点を整理します



コロニー社「Futuring™」プログラムの進め方

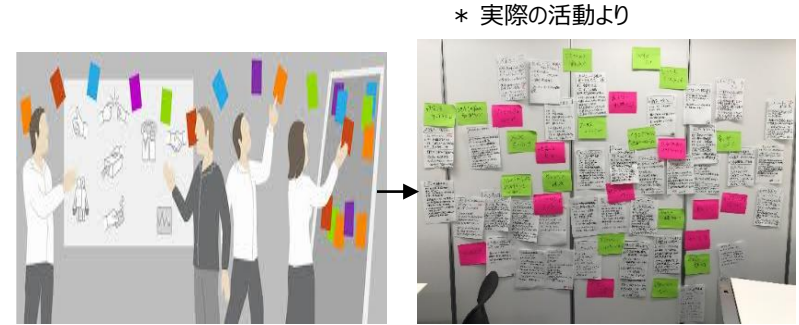
参加メンバー全員で観察した‘身近な変化’を集め、ブレインストーミングで起こりうる未来をアイディエーション。出された様々なアイデアをクラスタリングし優先課題として抽出。この活動をベースに、「未来地図」や「戦略ロードマップ」を作成し新規事業企画に繋げていきます

‘身近で起こる変化’収集



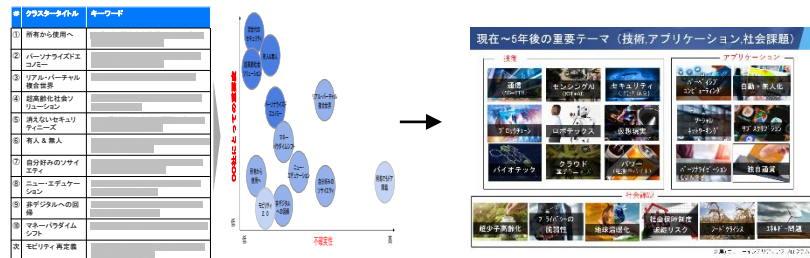
変化に対するインテリジェンス活動

参加者全員でのワークショップ



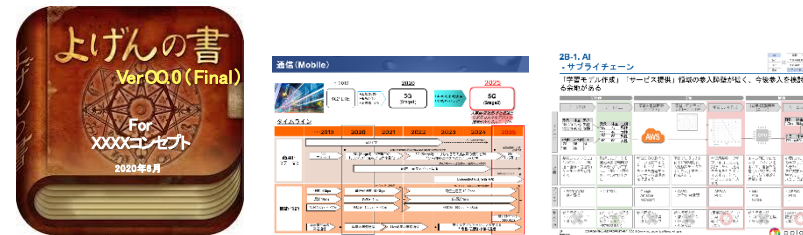
ブレインストーミングとアイデア発想

クラスタリングと優先テーマの選定



重要テーマの抽出と優先順位付け

「未来地図」+「新たな戦略」への落とし込み (成果物内容は要ご相談)



既存戦略の見直しや新規事業戦略明文化へ

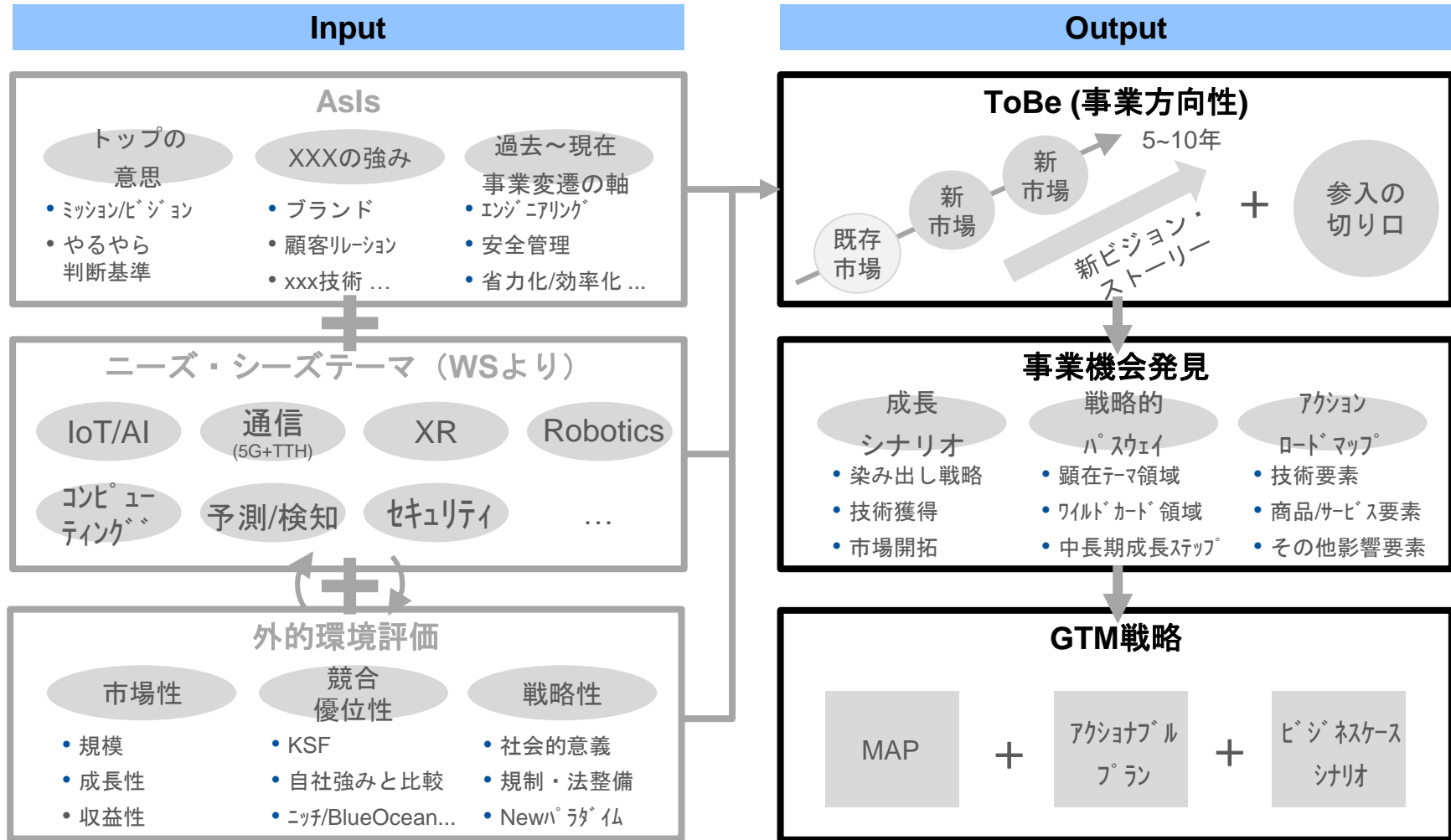
新規事業企画・戦略策定支援：「Futuring™」の位置づけ

Futuring™活用のサービス

	主なコンテンツ	目的	対象部門	形態	
事業化前	①事業環境観察・重要テーマ発掘・戦略地図作成	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Futuring™プログラム ✓ 「予言の書」、各種ロードマップなど戦略図の明文化と文書化 	5～10年先の事業テーマ探索 社内ナレッジベース構築 社員の情報感度育成	新規事業企画 経営戦略 人事・教育	プロジェクト サブスク
	②最先端技術調査	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ロングリスト・個票纏め ✓ トレンドサマリー 	VC, MA或いは アライアンス先選定のための 企業&技術調査と評価	投資・戦略/ 新規事業企画	プロジェクト サブスク
事業化後	③新技術/新商材 事業機会発見	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Futuring™プログラム ✓ 戦略パズルスイ&アクションロードマップ ✓ GTM戦略提言 	新規商材の戦略構築	新規事業企画 経営戦略 各事業部	プロジェクト
	⑤POC>M戦 略立案支援	<ul style="list-style-type: none"> ✓ VoC収集と纏め ✓ 市場/商材バジネモデル分析・評価 ✓ Market Attack PlanとGTM提言 	新商材の実証&事業性検証 ‘Go’ ‘No-go’ の提言	新規事業企画 各事業部	プロジェクト
	⑤事業開発/営業 支援	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市場/商材バジネモデル分析・評価 ✓ 対象先ショートリスト作 ✓ ノックドア&ビジネス交渉 	商材QCD分析と評価 顧客、チャネル、アライアンスパート ナー開拓...	各事業部	プロジェクト

Futuring™プログラムのプロセス

当PJは、下記のようなInputとOutputフローにより構成され事業化の'Go' 'No-go' 判断のための戦略的視点を提供します



【参考】現在～5年後の重要テーマ（技術,アプリケーション,社会課題）

現在から5年後において重要テーマとなりうる分野を洗い出し、新規事業発見のたたき台とします

技術



アプリケーション



社会課題



Futuring™プログラムのご利用例

新規事業探索に向けたビジネス環境観察やアイデア抽出をはじめ、社内企画部門や異なる部門を跨いだインテリジェンス活動、更には情報感度の高い次期主力社員を育てる人材育成などの目的でのご利用を推奨しています

目的と内容

ビジネス 環境観察

- トレンドウォッチ：中長期の研究開発戦略に影響を及ぼすビジネストレンドをアップデート (自動車メーカー)
- 技術ロードマップ策定：技術の未来予測を作成し、次期製品の商品化検討に使用 (通信事業者)

情報交流と共有

- 情報交流活性化：企画組織及び部門を跨いだインテリジェンス交流の活性化。企業文化としてのオープンディスカッションを受け入れる土壌形成とその定着 (電機メーカー)
- 情報交流活性化：組織を超えた情報伝達のプラットフォームの構築 (情報機器メーカー)

人材育成

- 新人研修：専門領域の枠組みにとらわれない社会観察手法の取得 (素材メーカー)
- 中堅社員研修：論理的で能動的な議論ができる、次世代幹部候補者の育成 (食品メーカー)

リモートワークショップの実施方法

リアルサイトでのワークショップ開催に制約があるなか、最新のオンラインホワイトボードツールやオンライン会議ツールを活用することで、リモートワークショップの実施が可能です

オンライン会議ツール (Zoom)



オンラインホワイトボードツール (miro)

